

# 淡路地域関連データ

令和 2 年 10 月



## 目 次

1. 管内人口推移の状況	1
2. 年齢3区分別人口割合の状況	2
3. 自然増減・社会増減	3
(1) 自然増減(出生数と死亡数の推移)	3
(2) 社会増減(日本人の転入者数と転出者数の推移)	3
4. 出生数・合計特殊出生率	4
5. 管内外国人数の状況	5
(1) 外国人人口の推移	5
(2) 外国人の国籍別の推移	6
(3) 外国人労働者の状況	7
6. 観光客入込状況の推移	8
7. 産業の状況	9
(1) GDP(名目)の推移	9
(2) 産業構造の状況	10
(3) 工場立地状況	11
(4) 有効求人倍率(原数値)の状況	11
8. 農業の状況	12
(1) 農業産出額の推移	12
(2) 農業就業人口および新規就農者の推移	12
(3) 耕作放棄地の状況	13
(4) シカ・イノシシによる農林業被害面積及び被害額	13
9. 交通安全の状況	14
10. 兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)の状況	14

### 1. 管内人口推移の状況

淡路地域の人口は、戦後の1947(S22)年の226,890人をピークに減少を続けており、兵庫県将来推計人口によると今後も減少ペースは加速し、2050(R32)年には現在(2020)の半数近くまで減少すると推測されている。

管内人口の推移

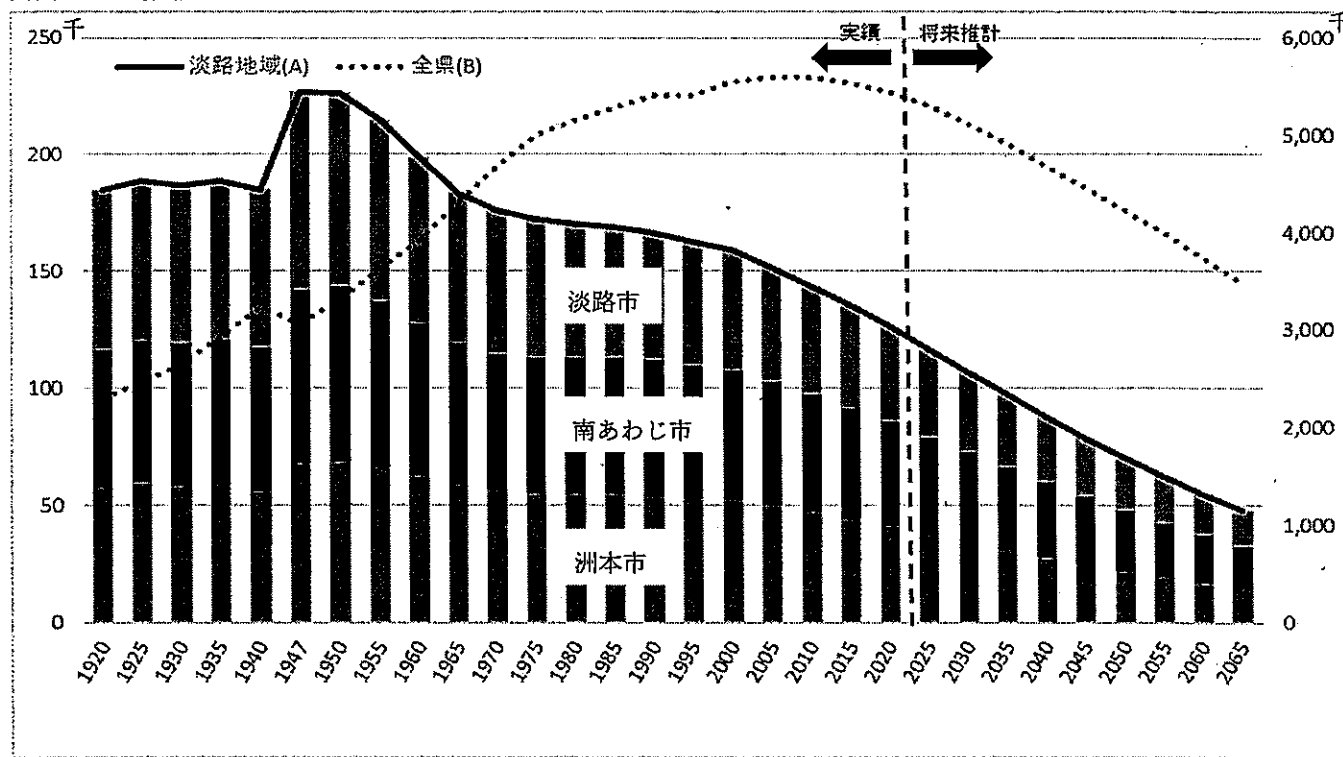
(単位：人)

	1990 (H2) 10.1	1995 (H7) 10.1	2000 (H12) 10.1	2005 (H17) 10.1	2010 (H22) 10.1	2015 (H27) 10.1	2020 (R2) 7.1	推計人口 2050 (R32)
洲本市	54,046	52,839	52,248	50,030	47,254	44,258	41,150	21,930
南あわじ市	57,528	56,664	54,979	52,283	49,834	46,912	44,120	25,750
淡路市	54,644	53,235	51,884	49,078	46,459	43,977	41,257	22,336
淡路地域 (A)	166,218	162,738	159,111	151,391	143,547	135,147	126,527	70,016
A/B	3.1%	3.0%	2.9%	2.7%	2.6%	2.4%	2.3%	1.7%
全県 (B)	5,405,040	5,401,877	5,550,574	5,590,601	5,588,133	5,534,800	5,446,299	4,230,509

※1990～2015年は、国勢調査、2020年は、兵庫県推計人口【統計課】

※2050年は、兵庫県将来推計人口【ビジョン課】

管内人口の推移



管内人口の増減(2000→2030)

(単位：人)

市	2000 (H12)	2030 (R12)	比
洲本市	52,248	34,267	▲34.4%
南あわじ市	54,979	37,937	▲31.0%
淡路市	51,884	34,560	▲33.4%
淡路地域	159,111	106,764	▲32.9%

## 2. 年齢3区分別人口割合の状況

年齢区分別（15歳未満：年少人口、15～64歳：生産年齢人口、65歳以上：高齢者人口）で比較すると、淡路地域の人口に対する年少人口、生産年齢人口の占める割合は減少し続ける一方で、高齢者人口の割合は増加し続け、2050年には人口の半数を高齢者が占めると推測されている。

年齢区分別管内人口の推移

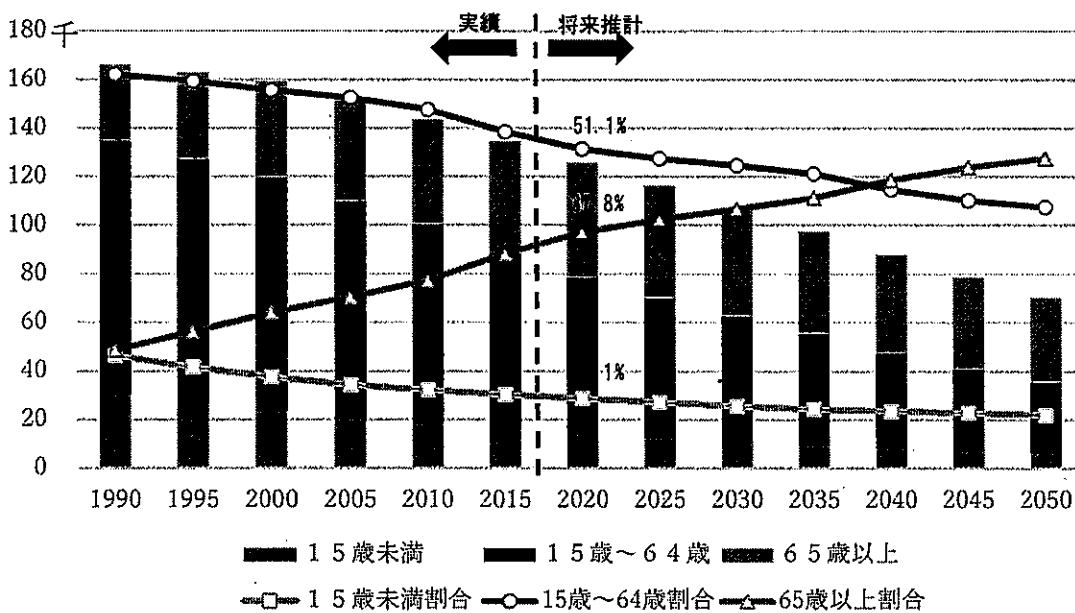
(単位:人)

区分	1990(H2) 10.1	1995(H7) 10.1	2000(H12) 10.1	2005(H17) 10.1	2010(H22) 10.1	2015(H27) 10.1	推計人口 2020(R2)	推計人口 2050(R32)
年少	29,926	26,249	23,156	20,066	17,873	15,872	14,010	5,959
生産年齢	104,857	100,942	96,341	89,713	82,419	72,637	64,296	29,281
高齢者	31,433	35,547	39,614	41,413	43,162	46,265	47,507	34,775
淡路地域	166,216	162,738	159,111	151,192	143,454	134,774	125,813	70,015

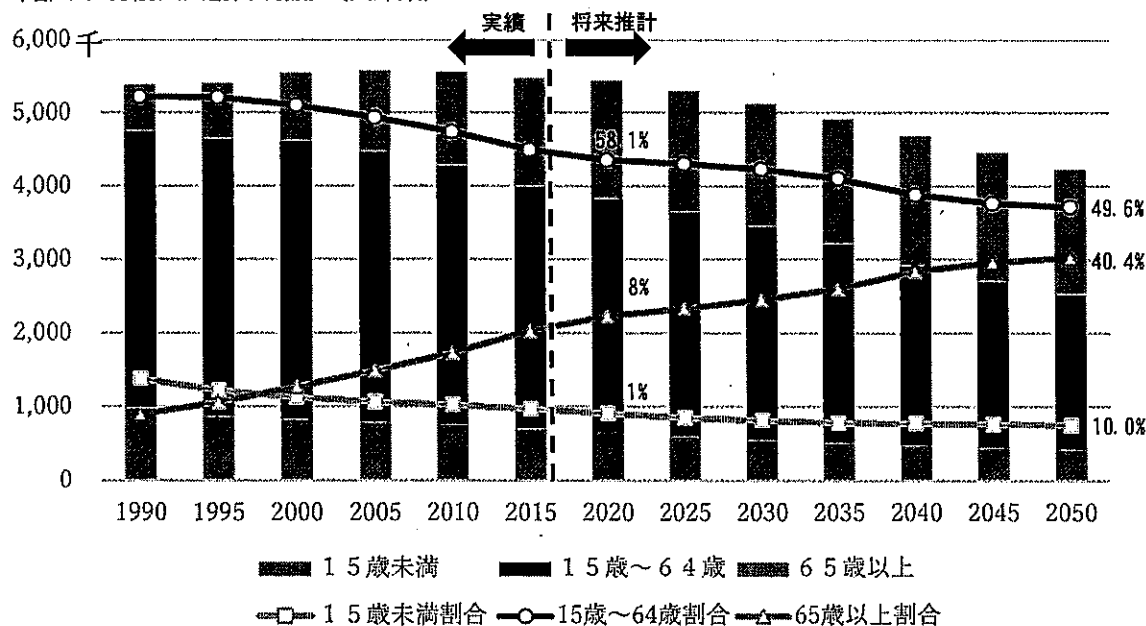
※ 1990～2015年は国勢調査、2020年、2050年は兵庫県将来推計人口【ビジョン課】

※ 年齢不詳を除いているため、淡路地域計は、表「管内人口の推移」と合致しない

年齢3区分別人口割合の推移（淡路県民局）



年齢3区分別人口割合の推移（兵庫県）

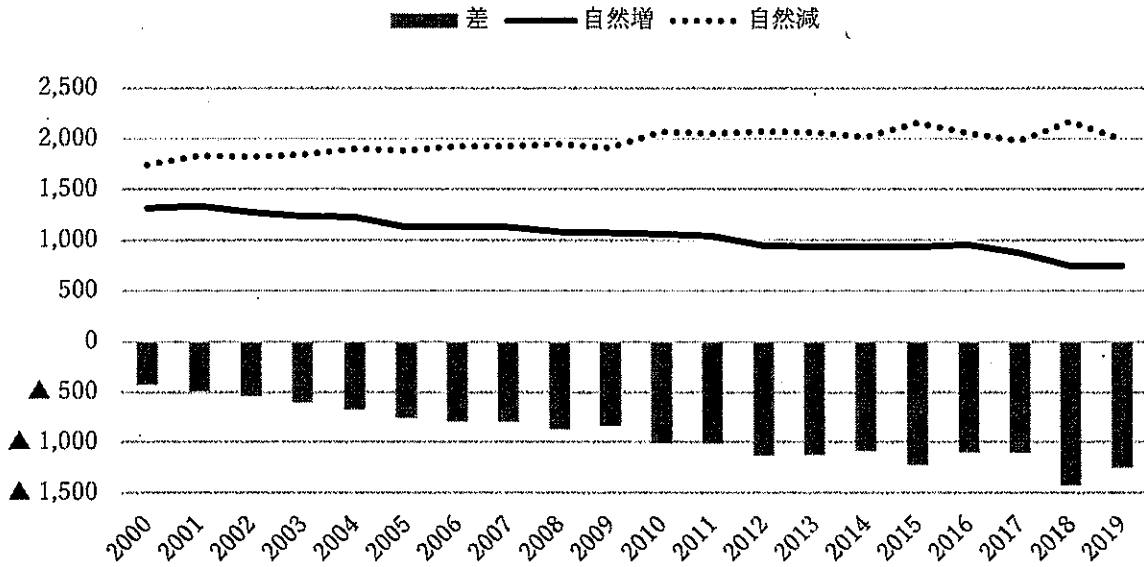


※ 2015年以前は、「国勢調査」、2020年以降は兵庫県将来推計人口

### 3. 自然増減・社会増減

#### (1) 自然増減（出生数と死亡数の推移）

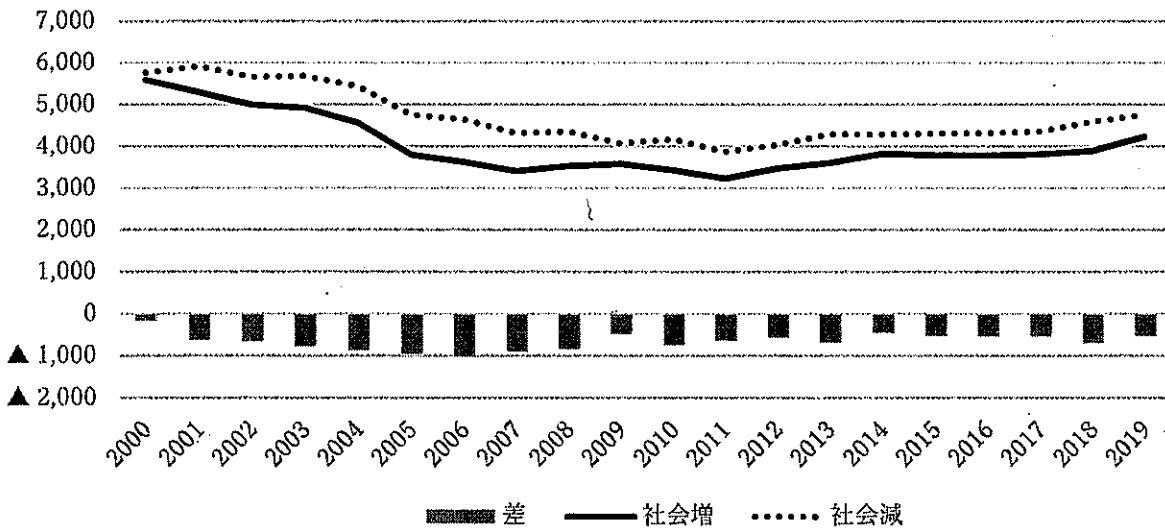
淡路地域では、1947(S22)年以降から人口減少が続いており、2000年以降においても出生数は減少、死亡数は増加の一途をたどり、その差は拡大傾向にある。



※ 兵庫県推計人口

#### (2) 社会増減（日本人の転入者数と転出者数の推移）

淡路地域の転入数は、2012年以降増加傾向にあるが、転出者数も同様に増加傾向にあり、毎年500人以上の転出超過が続いている。

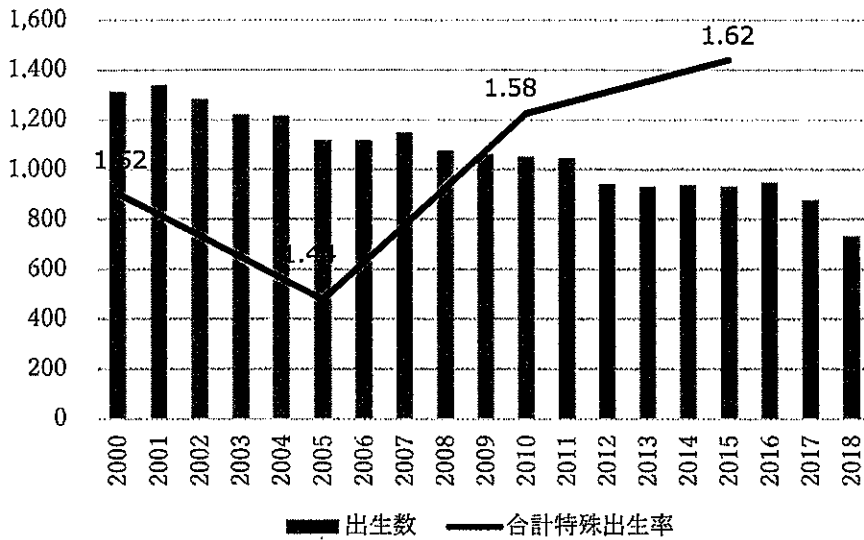


※ 兵庫県推計人口

#### 4. 出生数・合計特殊出生率

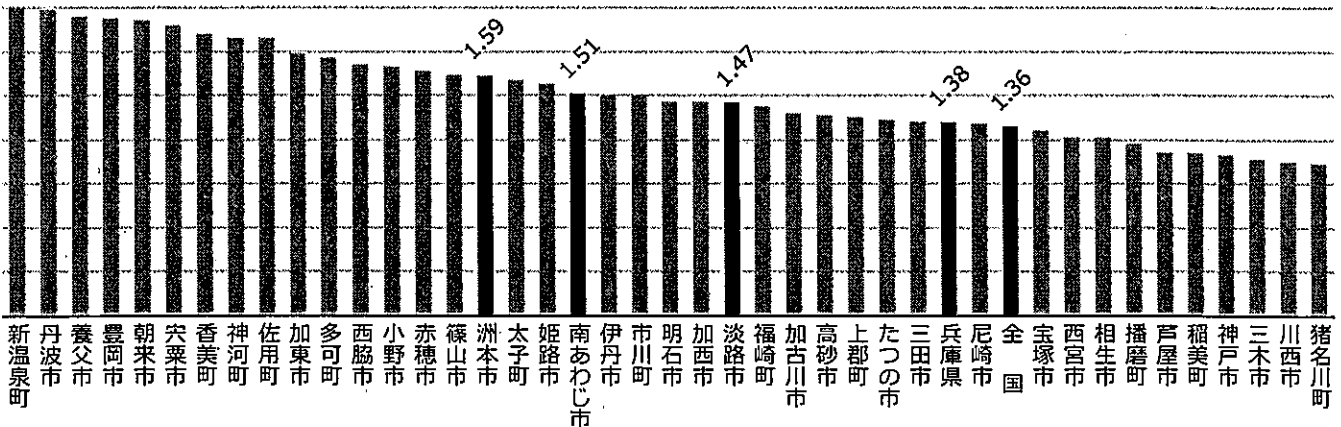
淡路地域の合計特殊出生率は、2005(H17)年以降、上昇傾向にあるが、出生数は、多少の増減はあるものの減少傾向にある。

出生数と合計特殊出生率の推移（淡路地域）

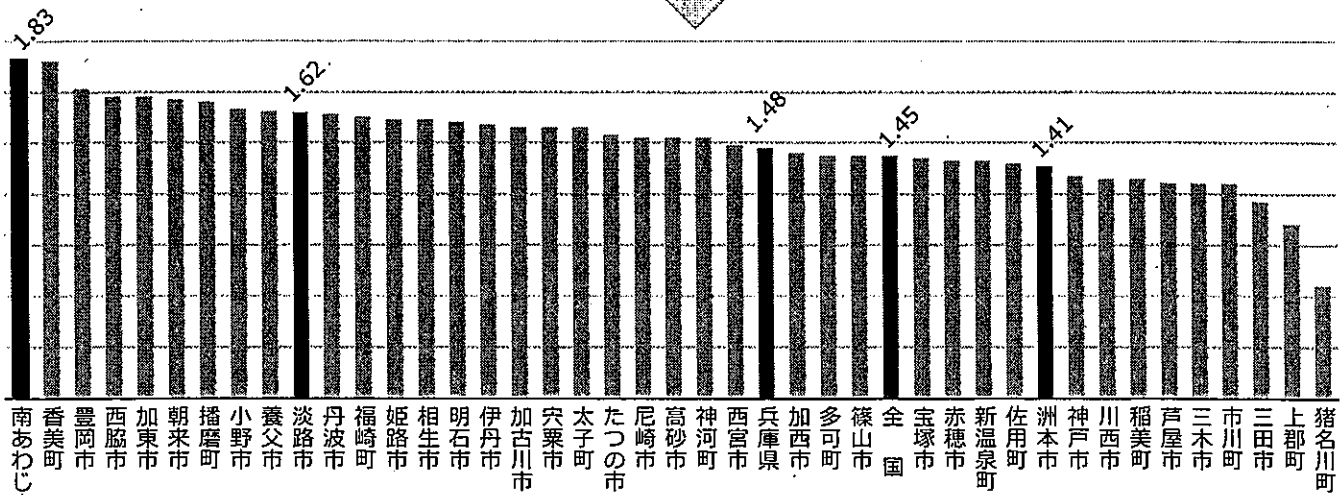


※ 保健統計年報

市町別合計特殊出生率(2000年(H12))



市町別合計特殊出生率(2015年(H27))



※ 平成 30 年保健統計年報

## 5. 管内外国人数の状況

### (1) 外国人人口の推移

住民基本台帳に基づく管内の外国人人口は、2013 (H25)年と比較すると約 1.5 倍に増加しているが、人口に占める外国人の割合を圏域別に見ると、淡路地域は県下で最も低い状況である。

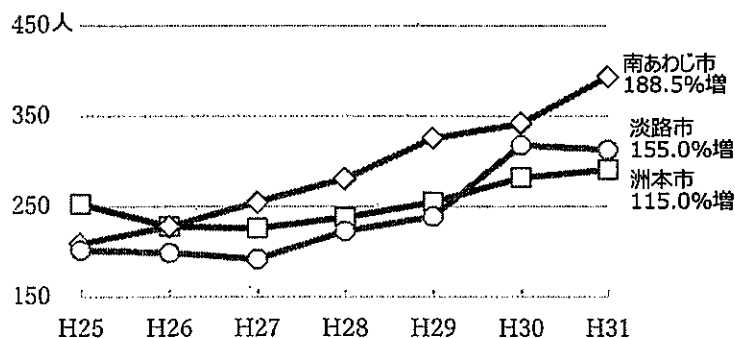
外国人人口の推移

(単位:人)

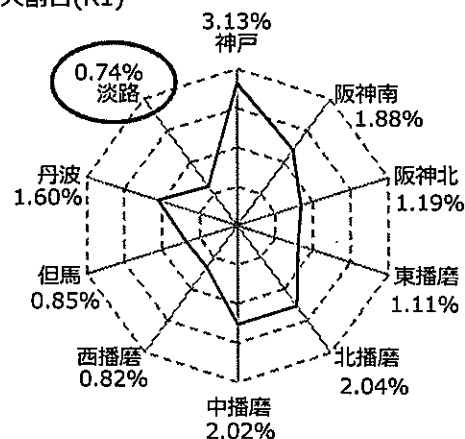
	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
洲本市	253	228	226	238	255	282	291
南あわじ市	209	228	255	281	326	342	394
淡路市	202	199	192	223	239	318	313
淡路地域	664	655	673	742	820	942	998
全 県	95,478	94,983	95,167	97,044	100,080	104,056	108,302

※「住民基本台帳に基づく人口」【総務省】

市町別外国人人口の推移



圏域別外国人割合(R1)



市町における外国人の占める割合

(単位:人)

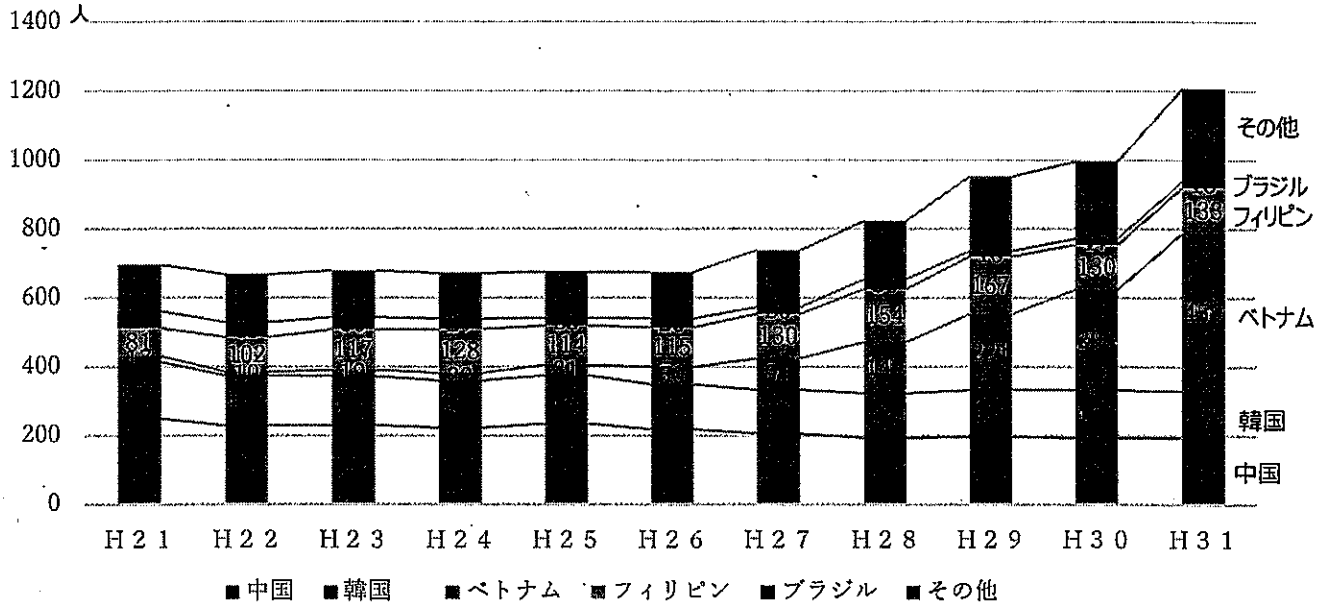
	人口 (H25)			人口 (H31)		
	人口	うち外国人	外国人割合	人口	うち外国人	外国人割合
洲本市	47,487	253	0.53%	44,034	291	0.66%
南あわじ市	50,609	209	0.41%	47,552	394	0.83%
淡路市	47,229	202	0.43%	44,039	313	0.71%
淡路地域	145,325	664	0.46%	135,625	998	0.74%
全 県	5,660,302	95,478	1.69%	5,570,618	108,302	1.94%

※「住民基本台帳に基づく人口」【総務省】

(2) 外国人の国籍別の推移

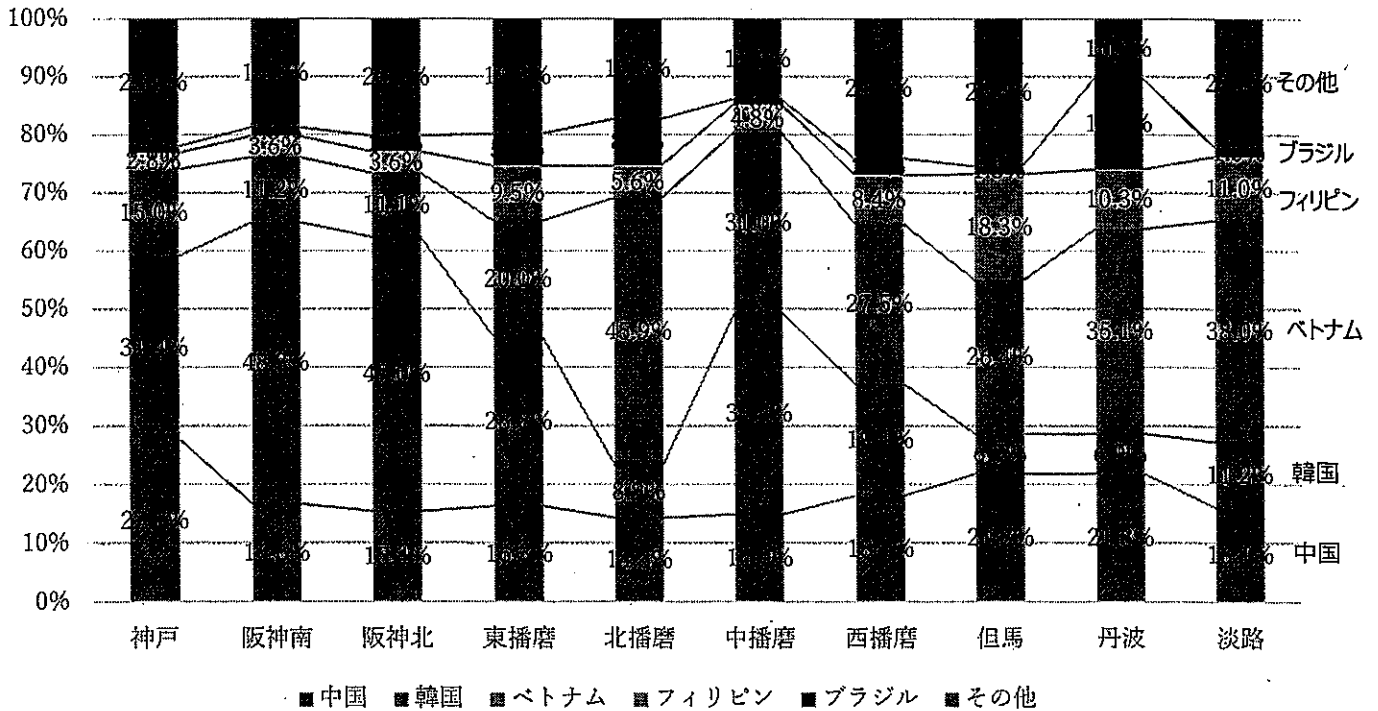
法務省入国管理局「在留外国人統計」によると、管内在留外国人のうち、ベトナム国籍者は2009 (H21)年と比較すると約 27 倍に増加しており、他の県域と比べてもベトナム人の割合が最も高い地域である。

国籍別在留外国人の推移



※法務省入国管理局「在留外国人統計」及び国際交流課「県内在留外国人数」。各年12月末時点、ただしR1は9月末時点

圏域別在留外国人の国籍割合(R1.12 末時点)



※法務省入国管理局「在留外国人統計」



### (3) 外国人労働者の状況

管内の外国人労働者はこの10年で約4.5倍に増加している。また洲本公共職業安定所管内における外国人労働者の24%が製造業で、在留資格別では、50%を技能実習が占めている。

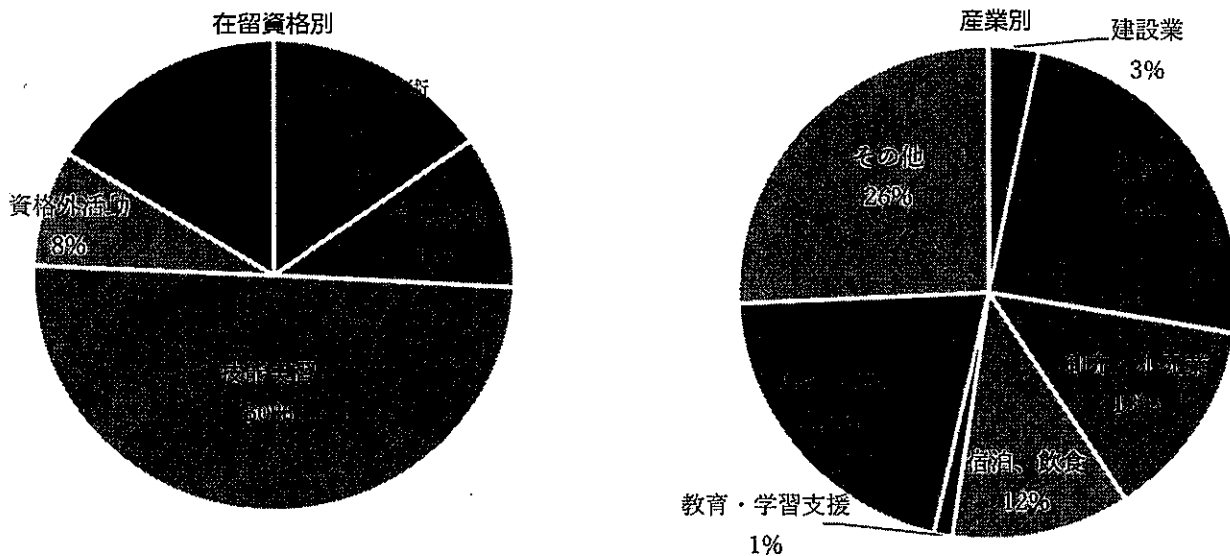
外国人雇用状況の推移

(単位：人)

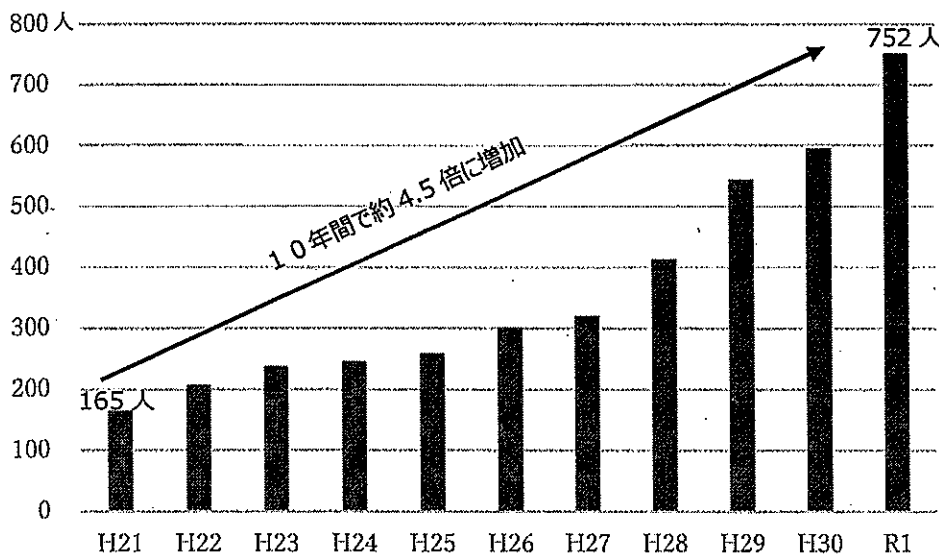
管轄	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
洲本	165	207	237	245	259	301	320	413	544	596	752
全県	12,985	15,082	14,855	15,431	16,610	17,614	20,303	23,683	29,621	34,516	41,083

※法務省入国管理局「在留外国人統計」

洲本公共職業安定所内訳(R1)



外国人労働者数の推移



## 6. 観光客入込状況の推移

2018(H30)年度は、前年と比較すると、台風等自然災害の影響を受けるなど、44万5千人の減少となったが、近年の観光客は増加傾向にある。神戸阪神地域に近接していることや高速道路網の整備により、観光客の90%を日帰り客が占めている。

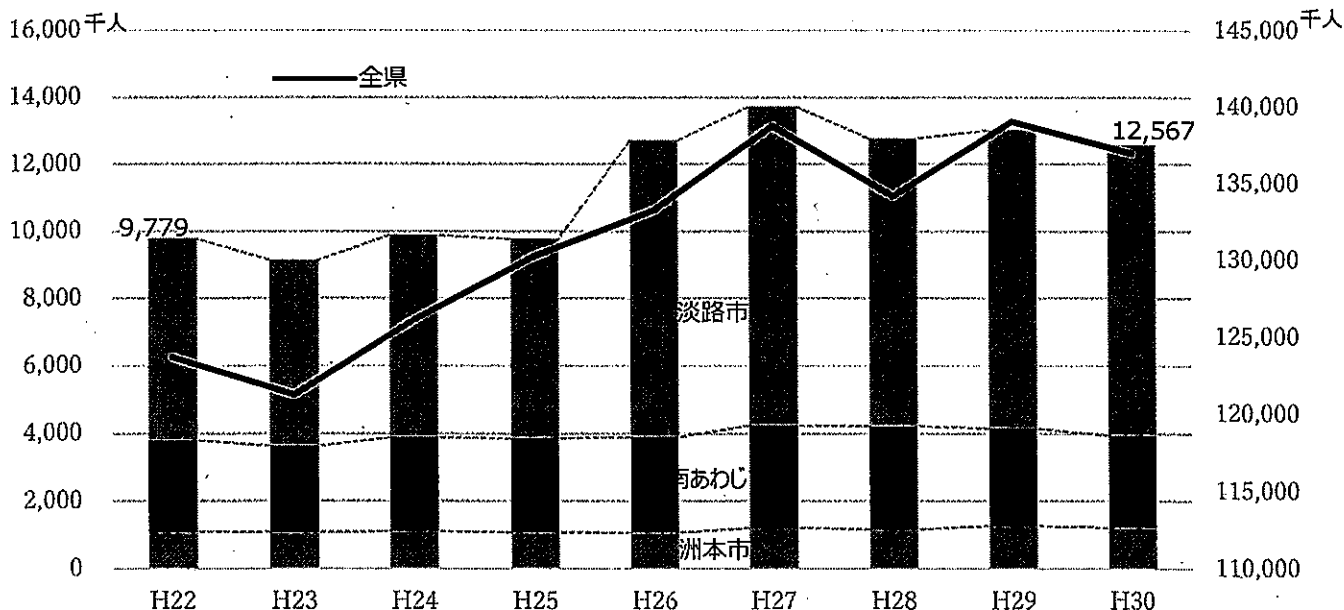
観光客入込数の推移（上段：日帰り客 下段：宿泊客）

（単位：千人）

	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H22比
洲本市	504	505	497	474	435	529	523	614	563	1.12%
	578	578	622	604	639	680	651	662	653	1.13%
	1,082	1,083	1,119	1,078	1,074	1,209	1,174	1,276	1,216	1.12%
南あわじ市	2,151	1,986	2,168	2,186	2,360	2,567	2,585	2,422	2,325	1.08%
	564	566	593	593	458	465	456	455	403	0.71%
	2,715	2,552	2,761	2,779	2,818	3,032	3,041	2,877	2,728	1.00%
淡路市	5,761	5,280	5,793	5,699	8,618	9,268	8,369	8,660	8,423	1.46%
	221	226	207	213	203	214	193	199	200	0.90%
	5,982	5,506	6,000	5,912	8,821	9,482	8,562	8,859	8,623	1.44%
淡路地域	8,416	7,771	8,458	8,359	11,413	12,364	11,477	11,696	11,311	1.34%
	1,363	1,370	1,422	1,410	1,300	1,359	1,300	1,316	1,256	0.92%
	9,779	9,141	9,880	9,769	12,713	13,723	12,777	13,012	12,567	1.29%
全 県	110,716	107,920	113,234	116,789	121,119	125,379	121,505	126,245	124,774	1.13%
	12,966	13,345	12,877	13,483	12,137	13,376	12,662	12,802	12,190	0.94%
	123,682	121,265	126,111	130,272	133,256	138,755	134,167	139,047	136,964	1.11%

※ 兵庫県観光客動態調査報告書

観光客入込数の推移



## 7. 産業の状況

### (1) GDP (名目) の推移

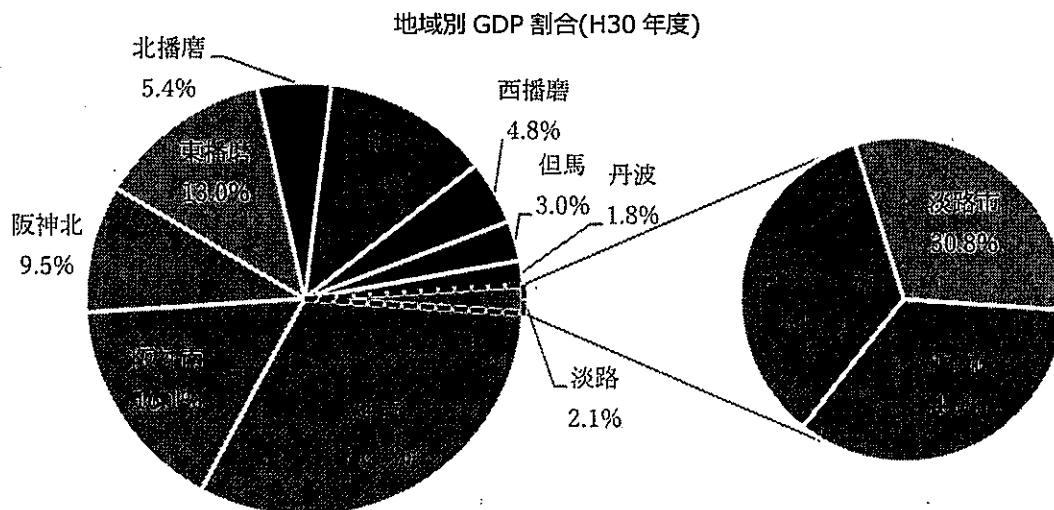
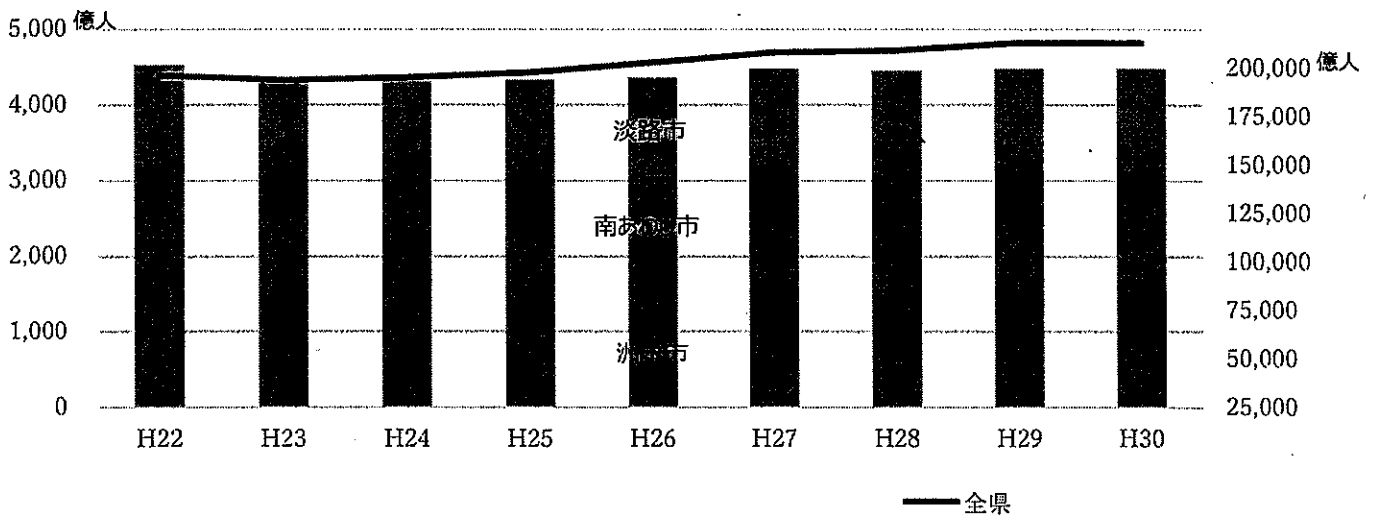
2018(H30)年度(速報)の管内の GDP (名目) は、4,478 億円で、前年度と横ばいであるが、経年では増加傾向にある。

#### GDP の推移

(単位：億円)

市名	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
洲本市	1,738	1,593	1,583	1,589	1,595	1,690	1,564	1,560	1,551
南あわじ市	1,499	1,463	1,417	1,444	1,454	1,512	1,507	1,532	1,548
淡路市	1,289	1,253	1,313	1,299	1,311	1,277	1,384	1,385	1,379
淡路地域 (A)	4,526	4,309	4,313	4,332	4,360	4,479	4,455	4,477	4,478
A/B	2.3%	2.2%	2.2%	2.2%	2.1%	2.2%	2.1%	2.1%	2.1%
全県 (B)	196,449	194,102	195,293	198,048	203,040	208,294	209,378	213,288	213,097

※ 兵庫県市町民経済計算



※補助円(市町)グラフ(管内内訳)は淡路地域計に対する割合

(2) 産業構造の状況

産業別に見ると農業や林業などの第1次産業及び、建設業や製造業などの第2次産業は減少傾向にあり、小売業やサービス業などの第3次産業は増加傾向にある。

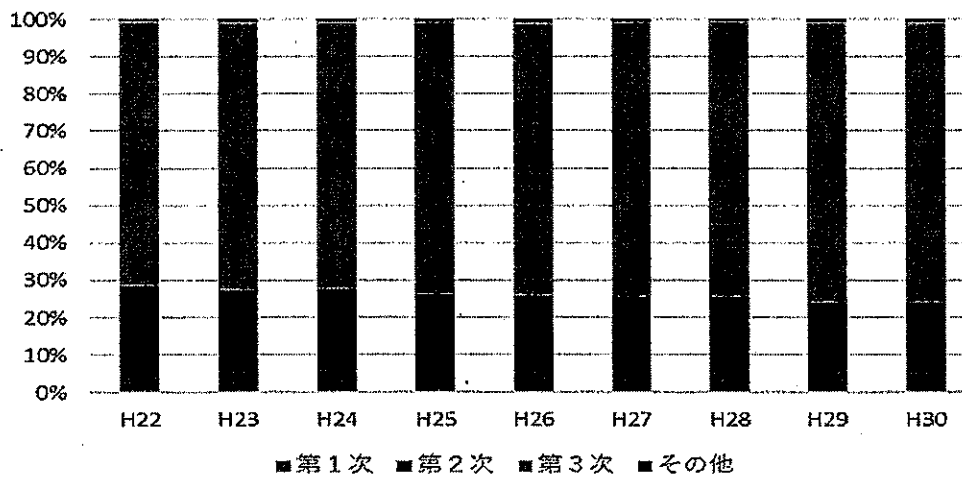
淡路地域の産業別 GDP の推移

(単位：億円)

	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
第1次	244	245	265	221	237	263	291	270	252
第2次	1,045	932	921	907	889	874	845	803	821
第3次	3,220	3,110	3,103	3,176	3,206	3,310	3,303	3,382	3,384
その他	16	23	23	28	37	31	16	22	22
計	4,525	4,310	4,312	4,332	4,369	4,478	4,455	4,477	4,479

※ 兵庫県市町民経済計算

産業別 GDP の割合



圏域別産業構造

(単位：億円)

地域名	2010(H22)					2018(H30)				
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他	計	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他	計
神戸	32	13,375	49,614	229	63,250	57	13,788	53,722	334	67,900
阪神南	10	8,335	22,793	113	31,250	5	8,119	26,057	169	34,351
阪神北	36	4,310	13,469	65	17,880	38	5,077	15,085	100	20,300
東播磨	58	10,583	14,853	93	25,586	49	10,951	16,627	137	27,764
北播磨	113	4,793	6,104	40	11,050	99	4,862	6,587	57	11,605
中播磨	100	7,683	16,590	89	24,462	99	8,227	17,893	130	26,349
西播磨	92	3,441	5,696	34	9,262	133	3,415	6,568	50	10,166
但馬	182	1,099	4,396	21	5,698	207	1,321	4,800	31	6,359
丹波	72	1,228	2,172	13	3,485	71	1,287	2,449	19	3,825
淡路	244	1,045	3,220	16	4,525	252	821	3,384	22	4,479
計	938	55,892	138,908	711	196,449	1,010	57,867	153,172	1,048	213,097

※その他・・・輸入品に課される税・関税

※兵庫県市町民経済計算

(3) 工場立地状況

淡路地域の工場立地件数は、毎年わずかであるが増加している。

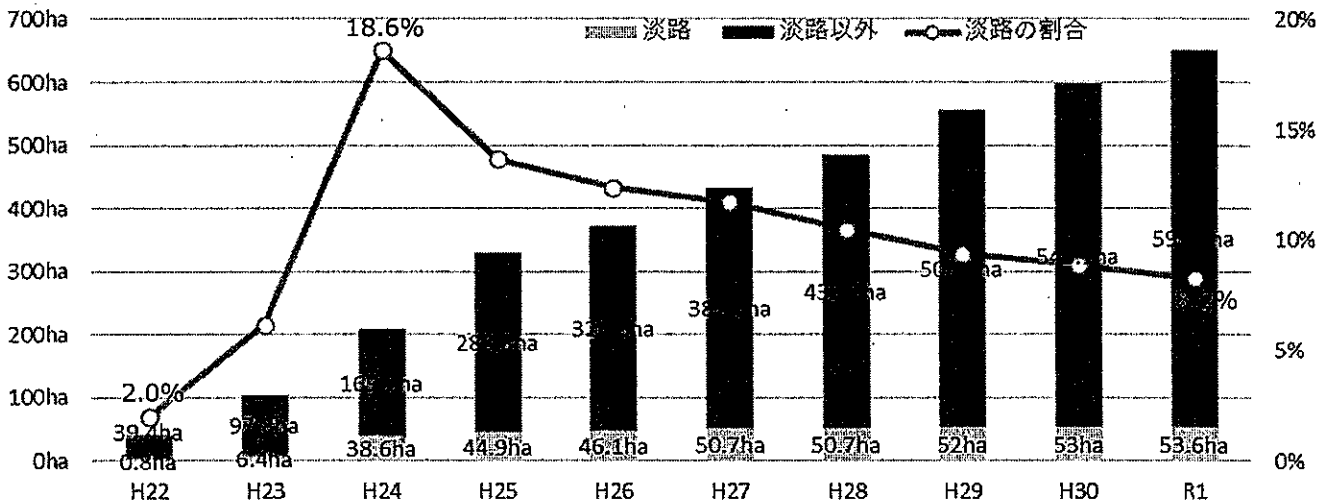
工場立地件数及び敷地面積の推移

(単位：件)

	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
淡路地域	2件 0.8ha	2件 5.6ha	5件 32.2ha	3件 6.3ha	2件 1.2ha	4件 4.6ha	0件 0ha	2件 1.3ha	1件 1ha	2件 0.6ha
全県	44件 40.2ha	56件 64ha	68件 103.6ha	65件 120.9ha	47件 44ha	73件 60.6ha	56件 51.1ha	59件 70.8ha	56件 42.9ha	48件 52.7ha

※ 工場立地動向調査

工場立地面積（累計）



(4) 有効求人倍率(原数値)の状況

洲本管内の有効求人倍率は全県及び全国より高い水準で推移している。

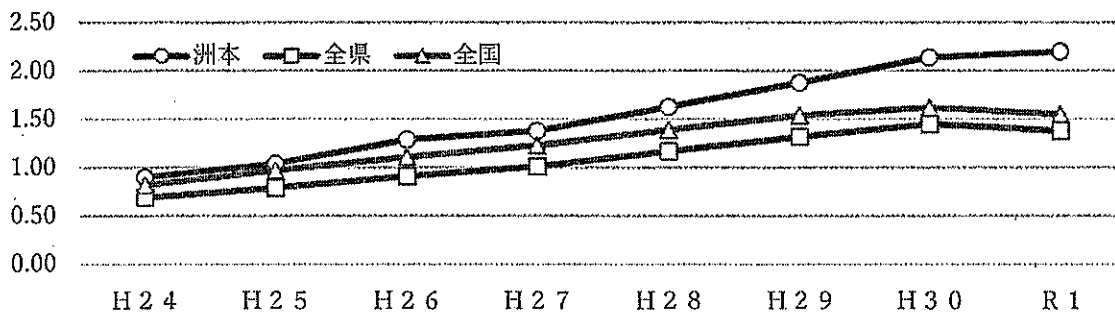
有効求人倍率の推移

(単位：倍)

管轄地	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
洲本	0.90	1.04	1.29	1.38	1.63	1.88	2.14	2.20
全県	0.69	0.79	0.91	1.01	1.17	1.32	1.45	1.38
全国	0.82	0.97	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62	1.55

※ 労働局調べ

有効求人倍率（原数値）の推移



## 8. 農業の状況

### (1) 農業産出額の推移

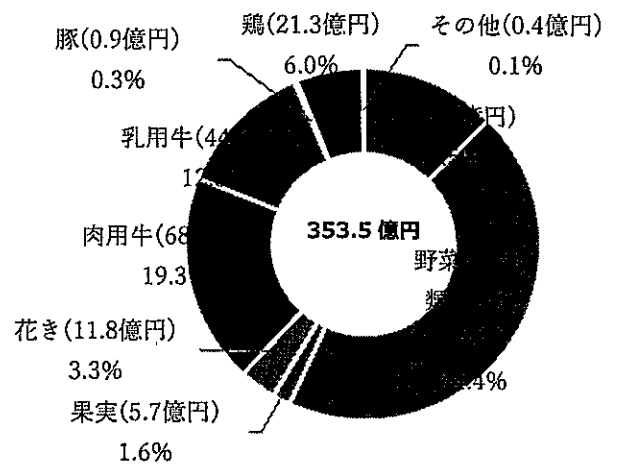
淡路地域の 2018(H30)年の農業産出額は 353.5 億円で、近年は減少傾向にあるものの県内では最も産出額の多い地域である。

農業産出額の推移 (単位：億円)

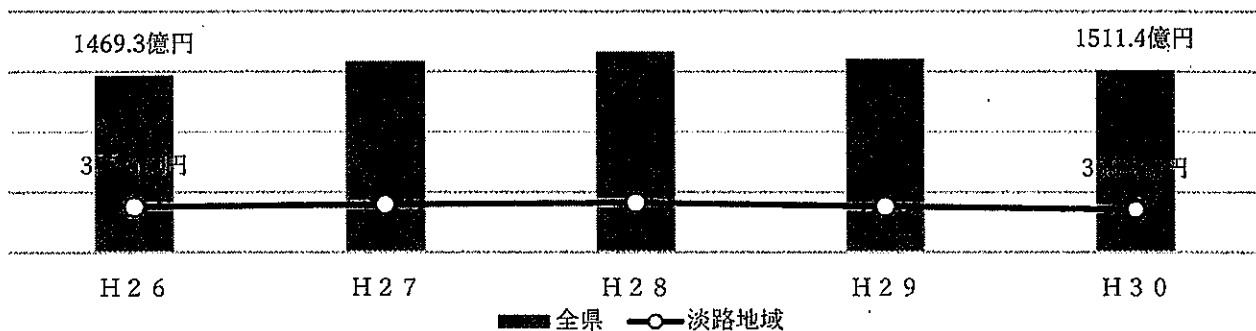
市	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 0 (2018)
洲本市	61.9	68.5	72.9	68.9	69.5
南あわじ市	253.9	260.1	266.6	242.7	215.2
淡路市	61.8	69.6	71.9	68.4	68.8
淡路地域 (A)	377.6	398.2	411.4	380	353.5
(A/B)	25.7%	25.1%	24.7%	23.7%	23.4%
全県 (B)	1,469.3	1,587.8	1,665.1	1,606.1	1,511.4

※ 市町村別農業産出額 (推計) (農林水産省)

淡路地域の農業産出額内訳(2018(H30)年)



農業産出額の推移

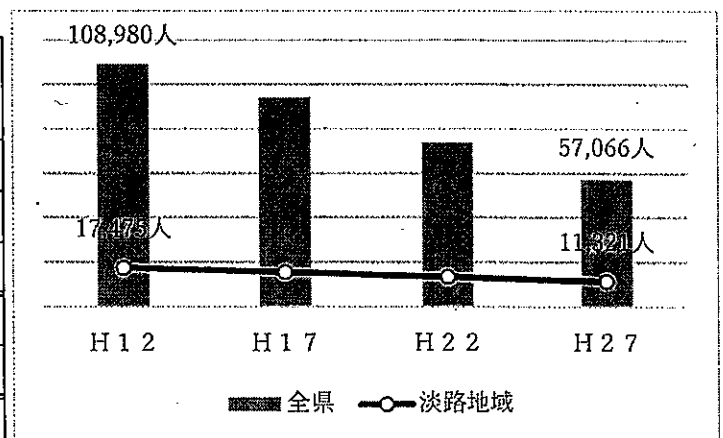


### (2) 農業就業人口および新規就農者の推移

農業就業人口は年々減少傾向にある。また新規就農者数は、2013(H25)年の 79 人をピークに毎年 60 人前後で推移している。

農業就業人口の推移 (単位：人)

	H 1 2 (2000)	H 1 7 (2005)	H 2 2 (2010)	H 2 7 (2015)
洲本市	4,015	3,576	2,998	2,415
南あわじ市	8,795	7,919	7,099	6,292
淡路市	4,665	4,067	3,241	2,614
淡路地域 (A)	17,475	15,562	13,338	11,321
A/B	16.0%	16.6%	18.2%	19.8%
全県 (B)	108,980	94,003	73,366	57,066



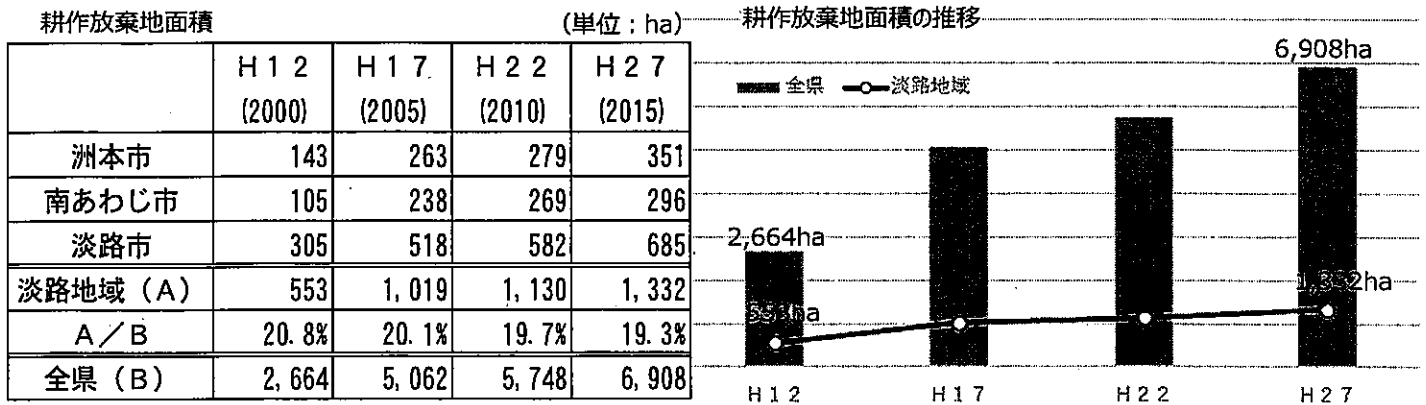
新規就農者数の推移

	H 2 2 (2010)	H 2 3 (2011)	H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 0 (2018)	R 1 (2019)
淡路地域	41	46	60	79	73	56	68	72	49	59
全県	207	238	321	306	315	311	297	279	256	243

※ 洲本農林振興事務所調べ

(3) 耕作放棄地の状況

管内各市町の耕作放棄地は毎年増加傾向となっており、H12(2000)年と比較すると 779ha の増加(約 2.5 倍)となっている。



(4) シカ・イノシシによる農林業被害面積及び被害額

シカ被害及びイノシシ被害ともに H29 までは減少傾向にあったが、H30 は淡路地域及び全県ともに増加している。

シカによる農林業被害 (単位: 千円, ha)

区分	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
淡路地域	被害額	41,846	41,082	29,847	33,290	19,634	3,839	3,434	4,007
	被害面積	18.60	17.55	11.79	13.62	6.88	1.58	1.42	1.75
全県	被害額	470,689	435,802	360,110	303,274	226,073	194,990	182,394	220,280
	被害面積	360.37	310.17	260.59	243.86	214.48	194.40	179.76	194.74

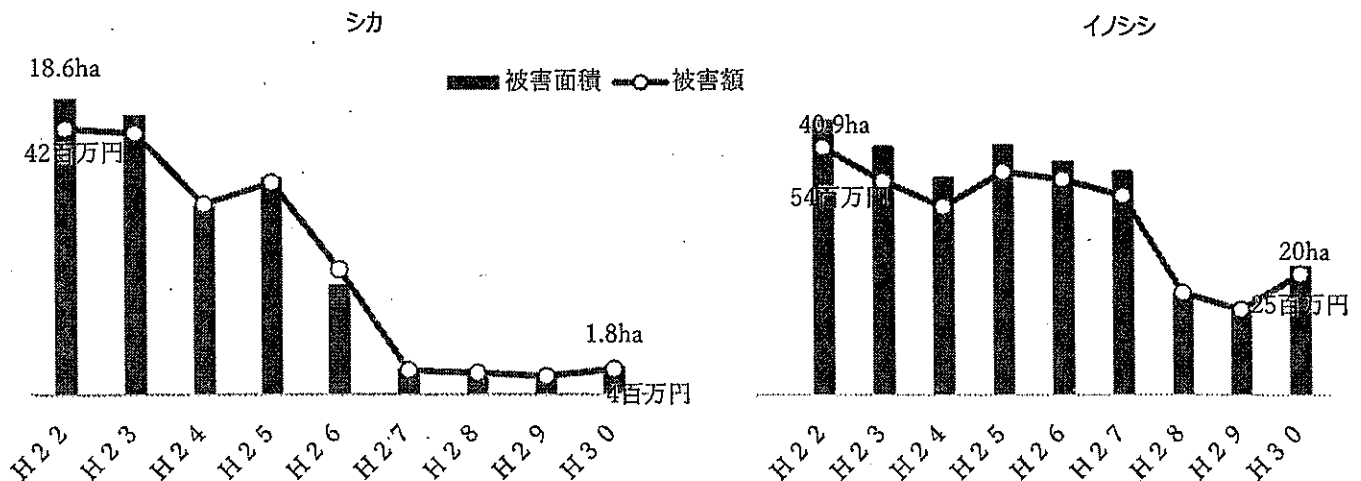
※ 洲本農林水産振興事務所調べ

イノシシによる農林業被害 (単位: 千円, ha)

区分	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
淡路地域	被害額	54,383	49,215	43,201	49,585	46,285	44,338	20,129	25,385
	被害面積	40.93	35.33	31.10	36.90	35.67	32.92	16.84	19.97
全県	被害額	294,009	254,784	234,017	269,191	244,000	218,362	195,130	220,091
	被害面積	251.46	210.07	194.68	221.15	208.65	179.80	160.19	181.95

※ 洲本農林水産振興事務所調べ

農林業被害(淡路地域)の推移



### 9. 交通安全の状況

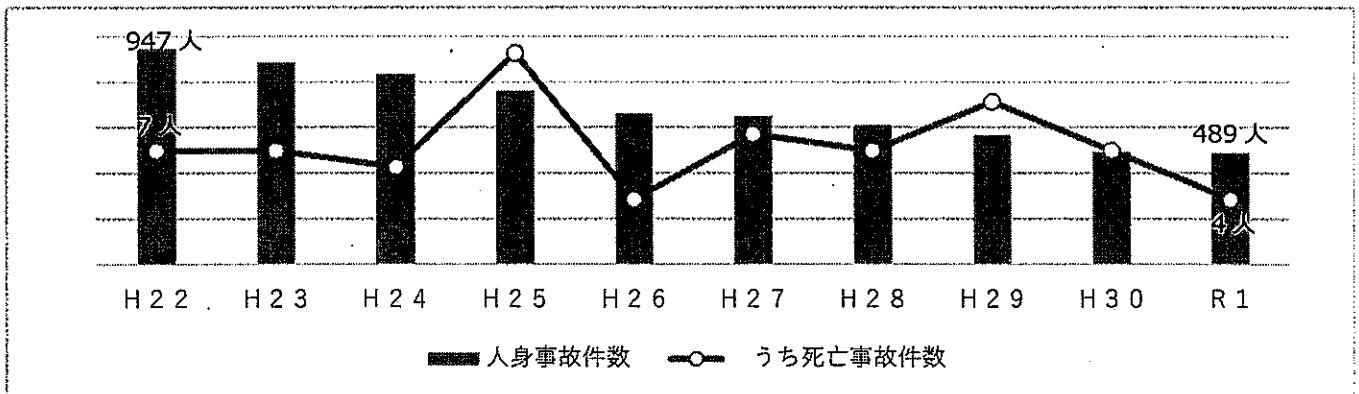
淡路管内における人身事故件数は、減少傾向にある。死亡事故件数については、増減はあるものの毎年5~10件程度発生しており、志望者の内のほとんどが高齢者である。

交通事故発生状況

区分		H 2 2 (2010)	H 2 3 (2011)	H 2 4 (2012)	H 2 5 (2013)	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 0 (2018)	R 1 (2019)
淡路地域	人身事故件数(件)	947	887	833	760	663	649	610	566	491	489
	うち死亡者数(人)	7	7	6	13	4	8	7	10	7	4
	うち高齢者(人)	4	5	5	9	2	6	4	6	7	4
県	人身事故件数(件)	36,594	36,195	34,056	32,734	30,118	28,542	27,340	26,791	24,667	22,896
	うち死亡者数(人)	192	198	179	187	182	171	152	161	152	138
	うち高齢者(人)	95	94	87	107	103	84	80	86	90	76

※ 交通事故統計【兵庫県警察】

淡路地域における交通事故発生状況の推移



### 10. 兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）の状況

2005(H17)年9月から始まり、加入促進を図っている。淡路地域は全県に比べても加入率は高い。

住宅再建共済制度（フェニックス共済）の加入率

	H 2 6 (2014)	H 2 7 (2015)	H 2 8 (2016)	H 2 9 (2017)	H 3 0 (2018)	R 1 (2019)
洲本市	19.9%	19.8%	20.5%	21.0%	21.2%	21.4%
南あわじ市	26.0%	26.2%	26.8%	27.6%	28.6%	29.1%
淡路市	16.4%	16.7%	17.2%	17.3%	17.5%	17.6%
淡路地域	20.8%	20.9%	21.6%	22.0%	22.5%	22.8%
全県	9.2%	9.3%	9.4%	9.5%	9.6%	9.6%

※ (公財) 兵庫県住宅再建共済基金調べ

加入率の推移

